

「設備更新等による CO₂削減効果の算定ツール」を使用する場合の注意
(ボイラーの燃料転換の場合)

2025 年 5 月

一般財団法人環境イノベーション情報機構

「設備更新等による CO₂削減効果の算定ツール」(以下、算定ツール。)を使用する場合、
「算定報告書／実施計画書」(以下、実施計画書。)の作成にあたり留意点があります。

下記についてご確認いただき、申請書関連資料を作成するようにしてください。

<留意する内容>

算定ツールを使用して実施計画書を作成する場合、内部計算で使用する係数と有効桁の扱いの違いから、表示される数値が異なる場合があります。

以下に、算定ツールを使用する場合の、実施計画書および申請者を作成する際の留意点を記しますのでご確認ください。

1. 算定ツール

(1) 最新バージョンを使用する (右上に表示 Ver.1.02)

(2) 基準年度燃料使用量は、実施計画書の「主要機器の排出量」シートより、該当設備の数値を転記

(3) 各 Step の表記に従って入力

※算定ツール内で使用の係数 (デフォルトで固定) ※解説書を参照

活動量		単位発熱量		CO ₂ 排出係数	
種別	単位	係数	単位	係数 (表記)	単位
A 重油	kL	38.90	GJ/kL	=2.75/38.90 (=0.07069409)	t-CO ₂ /GJ
C 重油	kL	41.78	GJ/kL	=3.10/41.78 (=0.07419818)	t-CO ₂ /GJ
灯油	kL	36.49	GJ/kL	=2.50/36.49 (=0.06851192)	t-CO ₂ /GJ
LPG	t	50.08	GJ/t	=2.99/50.08 (=0.05970447)	t-CO ₂ /GJ
LNG	t	54.70	GJ/t	=2.79/54.70 (=0.05100548)	t-CO ₂ /GJ
都市ガス	千 Nm ³	45.00	GJ/千 Nm ³	=2.27/45.00 (=0.05044444)	t-CO ₂ /GJ
系統電力	kWh	—	—	0.000438	t-CO ₂ /kWh

2. 実施計画書

(1) “排出係数・単価表”シート：単位発熱量と CO₂ 排出係数は、上表のデフォルト値とする

① CO₂ 排出係数欄には、表の数式を入力する (例：A 重油の場合 “=2.75/38.90”)

② 単価は、申請者が準備した根拠資料に基づいた数値を入力する

(2) “対策個票”シート：

① 2.削減効果根拠

対策実施[前]、対策実施[計画] の年間活動量に、算定ツールの計算結果（燃料使用量）を転記（小数点以下まで） ※表記は整数

② 3.年間活動量の算出根拠

“3-5.活動量(エネルギー使用量)の計算”、“3-6.活動量(エネルギー使用量)の計算で使
用した各数値の説明・根拠” 欄には、

「設備更新等による CO₂削減効果の算定ツール」を使用して計算 と記載

③ その他の項目は、内容に従って入力

(3) “513.設備 CO₂ 削減計画”シート：数値が表記されていることを確認

3. 申請書（応募申請書、交付申請書）

(1) “別添 3_実施計画書まとめ”シート：各欄の注記に従って、実施計画書から各数値を転記

以上